

平成30年6月23日(土)

福島の子どもたちを南幌へ ～チャリティーコンサート～



あいくるで「福島の子どもたちを南幌に招待する会」主催のチャリティーコンサートが開催されました。会の皆さんは、東日本大震災の原発事故で外遊びが限られている福島の子どもたちを「なんぼろキャンプ」に招待する活動を2013年から継続的に展開、今年で6回目の開催となりました。大西会長自らが箏の美しい音色や唄を披露した「なおこBAND」、音楽ユニット「野花南」「トロ」の皆さん、そして南幌中学校吹奏楽部の演奏が150名の来場者を楽しませました。誓松寺婦人会の皆さんによるチャリティーバザーも開かれ、この度集まった善意は8月2日から行われるキャンプでの活動費等に充てられます。大西会長は「子どもたちにとって有意義なキャンプとなるよう、スタッフ一団力を合わせます」と挨拶しました。



ぞうきを寄贈しました ～南幌町赤十字奉仕団～

南幌町赤十字奉仕団（高橋梅子委員長）から特別養護老人ホーム「南幌みどり苑」へ、団員皆さんで作成したぞうきん127枚が寄贈されました。



平成30年6月11日(月)

まちかど

フォトアルバム

NANPORO Machikado Photo Album

平成30年6月

地域貢献活動 ～馬淵建設(株)、岩田地崎建設(株)～

南幌町内でのボランティア活動を目的として、馬淵建設(株)より西幌地区の排水路掘削、岩田地崎建設(株)より南幌小学校のグラウンド脇ヒバの剪定の申し出をそれぞれいただき、排水環境や教育施設の整備へ多大なる貢献をいただきました。



馬淵建設(株)



岩田地崎建設(株)

ごみ拾いを実施 ～南幌町商工会工業部会～

商工会工業部会(境憲明部会長)が例年地域貢献の一環として実施している環境美化事業が今年も行われました。南13線及び南15線の西7号～10号間と西7号及び西10号の南13線～15線間を4班に分かれ、約30袋分ものごみを拾いました。



平成30年6月16日(土)

先人たちへの感謝の思いを胸に ～治水感謝式～

南幌町を水害から守るため、明治43年から昭和11年までの27年間の長きにわたり夕張川の治水工事で犠牲になられた方の供養と治水工事の成功に感謝するため、三重緑地公園において治水感謝式が執り行われました。三重緑地公園には、治水事業に尽くされた南幌町更生の恩人「保原元二氏」の銅像並びに彰徳碑、治水感謝の碑が建立されており、南幌町の発展を見守っていただいています。

平成30年7月1日(日)



南空知大会3連覇 全道も優勝狙う ～南幌町柔道スポーツ少年団～

第43回南空知柔道少年団柔道大会兼第27回北整北海道少年柔道大会予選の団体戦を制し、3連覇を果たした柔道少年団の選手5名が役場を訪れ、三好町長に報告を行いました。5名は、岡田惇君（6年）、北川暖大君（6年）、金瀧賢汰君（5年）、馬場悠統君（5年）、小野島絆平君（4年）。8月に札幌で開かれる全道大会への出場に向けて、主将の岡田君は「目標は全道大会での連覇。まずは優勝を狙いたい」と力強く語りました。



より良い教育環境の実現に向けて ～南幌町学校運営協議会～

南幌町教育委員会では本年度から小・中学校にコミュニティ・スクールを導入し、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させ、「地域とともにある学校づくり」を目指していくため、南幌町学校運営協議会（委員15名）を設置しています。この日開催された、第2回南幌町学校運営協議会では、協議会の役割や部会の設置について議論しました。今後は、学校における取組内容の評価・検証及び支援内容について議論していくこととしています。



笑顔あふれたスポーツ大会 ～南幌めぐみ学園～

第31回めぐみ学園スポーツ大会が、晴れ空のもと開催されました。太陽が照りつける中、皆で協力して水を運ぶ「養老の滝」や「パン食い競争」など、多様な種目が行われました。施設利用者のほか地域住民も参加し、子ども向けの競技も行われるなど、皆さん笑顔で一大イベントを楽しんでいました。



保護司啓発メッセージの伝達 ～栗山地区保護司会南幌分区～

平成30年7月9日（月）

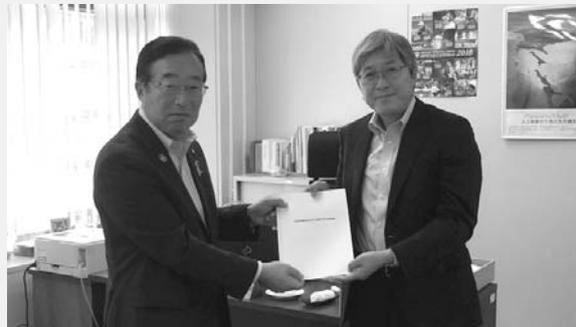
7月1日から始まった「第68回社会を明るくする運動」の一環で、栗山地区保護司会南幌分区が来庁し、「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」と題した内閣総理大臣メッセージの伝達を行いました。



「要請書」を決議 ～南幌高等学校の存続を求める集会～

北海道教育委員会が公表した公立高等学校配置計画案で、平成33年度に募集停止が示された南幌高等学校の存続を求める集会が、南幌高校振興協議会主催のもとぼろろで開かれました。60名余りが参加し、北海道教育委員会の担当者より公立高等学校配置計画案について説明を受け、北海道教育委員会教育長宛の「北海道南幌高等学校の存続を求める要請書」が決議されました。その後、7月20日に北海道教育委員会を訪問し、北海道教育委員会教育長に対し要請書を提出しました。

平成30年7月10日（火）



地域と一体になって盛り上げました ～南幌高等学校～

平成30年7月14日（土）

今年度、開校60周年を迎える南幌高校が、「南高祭」を行いました。今回は、若手農業者の団体「農猿」や南幌養護学校、北海道情報大学の学生など、地域や大学と連携し、2日目には一般公開を行い、農産物や地元の特産品を使った焼きそばなどの販売を行いました。また、全校生徒によるダンスパフォーマンスやカラオケサークル、ストリートダンスメリークラウンの出演などの催しに、会場は多くの来場者で賑わいました。



全日本一輪車競技大会に出場！ ～中林 文さん（北町）～

北広島高校2年生の中林文さんが、所属する札幌の一輪車チーム「UCフロンティア札幌」の一員として、6月に開催された2018全日本一輪車競技大会の北海道予選を通過し、群馬県で開催された全国大会に出場しました。7名で構成されるグループで音楽に合わせて演技をする、グループ演技部門に出場し、残念ながら上位入賞とはなりませんでしたが、「信頼し合える仲間と楽しんで演技をすることができました」と充実した表情で話してくれました。



どちらも中央に写るのが中林さん

全道大会での活躍を誓いました ～南幌中学校～

7月に開催された予選大会を勝ち抜き、見事中体連の全道大会への出場権を手にした「バドミントン部」「柔道クラブ」の皆さんと、予選はありませんでしたが体操の全道大会に出場する中川琉乃介さん（3年）が役場を訪れ、三好町長と小笠原教育長に全道大会出場を報告しました。バドミントン部主将の佐藤心さん（3年）は「1つ1つのプレーを大切に、チームワークで勝ち上がってきたい」、柔道クラブ主将の金瀧颯汰さん（3年）は「練習量ではどこにも負けていないと思う。自信を持って挑みたい」、体操の中川さんは「最後の大会なので、すべての力を出し切って全国大会に行きたい」と力強く決意を述べてくれました。三好町長からは「たくさんの人に支えられていることに感謝し、全道大会でも頑張ってきてほしい」と励ましの言葉が送られました。



～空知大会成績～

◆バドミントン

- 女子団体…3位
- 女子シングル 渡辺真歩…3位
- 男子ダブルス 佐藤心、西田悠斗ペア…3位

◆柔道

- 女子団体…優勝
- 女子個人44kg級 小野島あさひ…優勝
- 48kg級 瀬川夏生…優勝
- 57kg級 久保実愛…優勝
- 63kg級 大館香珀…優勝
- 男子個人81kg級 吉野晴哉…優勝
- 90kg級 金瀧颯汰…優勝



バドミントン部



柔道クラブ



体操 中川琉乃介さん